



国内初、船舶における『リニューアブルディーゼル』専焼での供給を実現いたしました ～脱炭素化の鍵を握る、海上輸送のカーボンニュートラル実現への取り組み開始～

伊藤忠エネクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田賢二）は、日本郵船株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長澤仁志、以下「日本郵船」）のグループ会社、株式会社新日本海洋社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：加藤毅、以下「新日本海洋社」）が横浜港で運航するタグボートに対し、Neste OYJ（本社：フィンランド、CEO：Matti Lehmus、以下「Neste」）のリニューアブルディーゼル（Renewable Diesel（以下「RD」））を供給いたしました。本取り組みは、船舶燃料として再生可能資源由来の燃料を100%専焼する、国内初^{※1}の事例となります。

本取り組みは、当社、伊藤忠商事株式会社、Neste のパートナーシップにより、国内における RD の輸送、および、給油に係る一連のサプライチェーンを構築したことにより実現したものです。

今回使用した Neste の RD は、食品競合の無い廃食油や動物油等を原料として製造され、ライフサイクルアセスメントベースでの GHG（Greenhouse Gas：温室効果ガス）排出量で、石油由来軽油比約90%の削減を実現いたします。RD は、すでに輸送用トラック・バス等で使用されており、いわゆる「ドロップイン」燃料として、既存の車両や給油関連施設をそのままに利用開始することが可能であり、欧米を中心に広く流通実績があります。カーボンニュートラル施策に係る導入コストを最小限に抑え、GHG 排出量削減に大きく貢献できる次世代リニューアブル燃料として、今後は陸上用途のみならず船舶用の代替燃料として、さらなる利用拡大が期待されます。

伊藤忠エネクスは、経営理念「社会とくらしのパートナー」のもと、エネルギー企業としてエネルギーの安定供給を行うとともに、今後も環境負荷低減商材やサービスの普及に努め、持続可能なカーボンニュートラル社会の実現に貢献いたします。

※1 伊藤忠エネクス調べ

【ご参考：供給の様子】



<タグボート「千倉丸」概要>

全長 : 36.20m

全幅 : 9.80m

型深さ : 4.40m

総トン数: 235 トン

【本リリースに関するお問い合わせ先】

伊藤忠エネクス株式会社 産業ビジネス部門

担当：相澤・志方 TEL：03-4233-8084